

高大連携通信

発行 兵庫県立神戸高等学校総合理学委員会
第4号 平成17年(2005年) 6月3日(金)

「高大連携通信」作成に際して2003年から、フリーソフト
OpenOffice.org を使って全て作成されています。(感謝)

神戸大学 高大連携特別講義受講申し込みは6月10日×切

今年度は、人文科学通論(文系)、自然科学通論(理系)の2つが実施されます!

2002年度から始まった、神戸大学との高大連携特別講義は、今年で、4年目となります。昨年度から神戸大学が夏休みに集中講義方式で実施する連携講義(全県の高校生が申込可で、講義内容は、第2、3号で連絡済)と、理系向けには神戸高校独自に設定された神戸高校生のみ受講可能な連携講義の2つで構成されています。

神戸大学が実施する連携講義は、理系向けの「自然科学通論」、文系向けの「人文科学通論」の2つの連携講義があります。講義内容については、「高大連携通信」第2号、3号に掲載済みですのでご覧ください。また、神戸大学のHP(<http://www.kobe-u.ac.jp/>)には、この連携講義のシラバスのほか、その他の連携講義なども掲載されています。ぜひ、ご覧ください。

本年度の神戸大学の高大連携特別講義を受講希望する人は、次の説明をよく読んで、申し込んでください。申し込み締め切りは6月10日(金)です。

なお、前年度までに実施された連携講義の内容については、上級生など昨年を受講した先輩などからの情報を得るか、過去の連携通信既刊分を以下に示すサイトのHPをご覧ください。

※ 過去3年分の「連携通信」全既刊分、本年度予定の講義内容の詳細がホームページ(<http://tachiyo.client.jp/>)にあります。「連携通信」2002年度の発行分全33号、2003年度の発行分全44号(号外除く)、2004年度発行分16号の全てをこのインターネットサイト上で見ることができます。YahooやGoogleなどのWebサイト検索でキーワード「物理の小道」を入力、検索することで、リンクでも行けます。

神戸大学高大連携特別講義について

- ◇ 理系向き連携講義「自然科学通論」と文系向き連携講義「人文科学通論」が開設されます。
- ◇ 「自然科学通論」、「人文科学通論」とも8月8日から11日まで
1講義90分、午前午後通して1日3講義で計12講義の集中講義形式
- ◇ 各講義の定員はそれぞれ60名、講義場所は神戸大学(六甲台国際文化部キャンパス)
- ◇ 兵庫県全域の高校2年生が受講可能(昨年度から)
- ◇ ガイダンスを含む講義を、全講義すべて受講すること(特定の講義だけは不可)
- ◇ 神戸高校生として恥ずかしくないような受講生となること
- ◇ レポート等の提出を指示された場合、必ず提出すること
- ◇ 講義によっては、教科書、資料代などが必要な場合があります。
- ◇ 受講後に簡単なアンケートを取りますので必ず提出すること(神戸大学、神戸高校それぞれ)
- ◇ 神戸大学の「自然科学通論」の連携講義と、神戸高校が実施する追加講義を全講義受講した場合、神戸高校における「現代自然科学通論」1単位として認定する。なお、文系の「人文科学通論」についてはこの制度が適用されませんので、ご注意ください。

以上の事柄を理解の上、6月10日までに申し込み登録用紙(別紙)に必要事項を記入して、担任の先生に提出してください。次ページには神戸高校独自の連携講義についてのお知らせがあります。

神戸高校実施分 高大連携講義について

神戸高校独自に設定する高大連携講義については、昨年同様に、各方面の著名な先生にお願いして行われます。現在、研究の最前線で活躍している大学の先生に交渉中です。現在までに講義をしていただけることが確定しているものについて、次に紹介してみましょう。

平成17年度 神戸高校主催 高大連携講義（確定分）

「2足歩行ロボットの研究」 千葉工業大学 未来ロボット研究所所長 古田 貴之 先生

最初に確定して、「高大連携通信」第1号でも紹介しています「2足歩行ロボットの研究（千葉工業大学の未来ロボット研究所 所長の古田先生）」があります。テレビや新聞でも良く取り上げられる「2足歩行ロボット」の実物を、私たちの目の前で分解してその構造を説明していただけるなど、貴重な機会が得られる連携講義となります。ロボットに興味を持っている生徒もたくさんいると思います。楽しい連携講義の一つです。

「最新ウイルス学入門」 神戸大学 医学部 堀田 博 先生

昨年度実施された講義のうち、神戸大学医学部の堀田先生による「最新ウイルス学」は現在でも人間に対して有効な解決策が見出せないでいる「ウイルス」を扱う研究の紹介です。エイズを含め根源的に有効な治療法が未だに見つからない「ウイルス病」に対する基本知識を学ぶ良い機会となります。1昨年に関わった東南アジアでの「SARS」騒動、今年の鳥インフルエンザ騒動などすべて、「ウイルス」という病原体の仕業です。未知のウイルスによる新たな脅威が人間を襲ってくることはこれからも続きます。鳥インフルエンザとヒトインフルエンザの関係など興味深い話が昨年は聞けました。今年も期待通りの充実した講義となりそうです。

「生化学入門」 大阪大学 理学部(化学) 金澤 浩 先生

大阪大学理学部化学科（正式に言えば大阪大学大学院理学研究科化学専攻）の金澤先生は昨年より神戸高校の連携講義を担当されています。先生による「生化学入門」の講義は現在注目の生物体内で行われる化学反応を取り上げるものです。生物と化学の境界領域の研究分野です。現在の生命科学研究における先端研究にいる先生のお話は生徒にとって新たな発見となるでしょう。

「情報通信におけるセキュリティ技術」 神戸大学 工学部 電気電子学科 森井 昌克 先生

今年初登場の「情報・通信分野」の講義となります。最近ニュースでもよく報道されている「情報通信における問題点」について、神戸大学工学部電気電子科の森井先生から詳しく紹介していただける連携講義を企画しています。森井先生はテレビや新聞紙上でネット社会での問題点について語られています。先日も読売新聞にコメント記事を見かけました。この「情報通信分野」の連携講義を通して、高校生が持つべきネット社会での基礎知識として、また、ネット利用のための有益な情報が講義を通じて得られるものと考えています。

なお、以上の講義内容（タイトル）は講師の都合で変更されることもあります。参考までに書かせてもらいました。また、そのほかの講義についても現在交渉中です。今年の高大連携も楽しい講義がたくさんあります。興味がある人は積極的に受講申し込みをしてください。〆切は6月10日（金）、受講申込書を担任の先生まで提出してください。

平成 17 年度 高大連携特別講義

受 講 申 込 書

神戸大学との高大連携特別講義（自然科学通論については神戸高校実施分も含む）の受講※を希望します。

受講コース 「自然科学通論（理系）」・「人文科学通論（文系）」
(どちらかを丸で囲む)

- ◇ ガイダンスを含む講義を、全講義すべて受講すること（特定の講義だけは不可）
- ◇ 神戸高校生として恥ずかしくないような受講生となること
- ◇ レポート等の提出を指示された場合、必ず提出すること
- ◇ 講義によっては、教科書、資料代などが必要な場合があります。
- ◇ 受講後に簡単なアンケートを取りますので必ず提出すること（神戸大学、神戸高校それぞれ）
- ◇ 「自然科学通論」と追加講義を全講義受講した場合、「現代自然科学通論」1単位として認定※。

平成 17 年 _____ 月 _____ 日

_____ 組 _____ 番 生徒氏名 _____

保 護 者 _____ 印

※ 全県で募集しています。定員（60人）を超えた場合、受講できない場合がありますのでご了承ください。

※ 「人文科学通論」については、神戸高校の履修単位としての認定制度はありません。